

令和7年度 水道局技術部組織目標

組織名	水道局技術部	部長	技術部長 川瀬 悦郎
組織の目的・方向性	老朽化に伴う施設の更新にあわせて、水需要の減少を踏まえた施設能力のダウンサイジングを行うとともに、耐震化を進め、効率的で強靱な施設を構築することにより、安定給水を確保できる水道システムを整備します。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標*	一人当たり年間平均断水・濁水時間		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

水道局技術部組織目標

新潟市水道事業経営計画の基本理念である「すべてのお客さまに信頼される水道」を実現するため、目指す方向性として掲げた「安全」「強靱」「持続」「健全」に関する目標を定め、個別具体的な施策や事業・取り組みを進めていきます。また、これらの目標に的確に対応するために、人材育成に継続して取り組むことにより、お客さま満足度の更なる向上を目指します。

この方針のもと、今年度は次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 「安全」水安全計画の充実・活用を図り、安全な水道水を安定供給します。
- 2 「強靱」浄水施設や管路施設の更新にあわせ、施設の耐震化を進めます。
- 3 「持続」アセットマネジメントを活用し、施設の計画的更新を進めます。
- 4 「健全」デジタル技術導入により、効果的・効率的な事業運営を実現します。
- 5 「人材育成」高い専門性や現場対応力を有した人材を育成します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
取組結果	水質管理を適切に行い、お客さまに「安全で違和感のない」水道水を提供しました。施設・設備の計画的更新による予防保全を実施し、基幹管路を中心に管路の耐震化を進めました。アセットマネジメントを活用し、投資効果が最大となる管路更新方針を検討しました。給水申請のデジタル化など、DX技術を活用した効率化を進めました。これらの業務を通して、職員の現場力や技術力の向上を図りました。				
今後の方向性	水安全計画に基づき、安全でおいしい水道水の提供に努めるとともに、既存施設の健全性を評価し、優先順位を定め計画的な施設整備を推進します。施設耐震化を進めるとともに、適切な緊急時対応ができる人材を育成し、組織としてのレジリエンスを高めます。 水道事業は典型的な装置産業であることから、現場に根差した技術を継承・向上させる必要があります。OJTとOff-JTを適切に組み合わせ、効率的な人材育成を行うとともに、残すべき技術を見極め育成環境を確保します。				